

# 10 本県の学力向上施策

本県の学力を向上させるためには、平成29年3月に改訂された学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が急務であり、教員個々の指導力向上に加えて、校内研修等を活用し、学校全体の組織で取り組むことが重要である。

県教育委員会では、魅力ある授業の実現に資するよう、次のような取組を行っている。各学校・教職員は十分に活用してほしい。

## (1) 情報提供～魅力ある授業を行うための指針等～

### ア 学びの羅針盤（改訂版）

授業づくりの共通の指針「学びの羅針盤」を学習指導要領の改訂に合わせて、内容を更新し、県内の公立小・中学校の全教職員に配布している。

全教職員の間で共有を図るとともに校内研修等で活用することは効果的である。



### イ かごしま学力向上支援Webシステム掲載問題の活用

本システムから、授業改善に役立つ資料をダウンロードすることができる。

#### ○ ダウンロードできる主な教材等について

- ・ 評価問題（思考力、判断力、表現力等を問う問題）  
小5～中3（国、社、算・数、理）、中1～3（英語）
- ・ 学びの羅針盤
- ・ 各地区からの教育情報（各地区作成の評価問題等）

※ 平成30年10月、各学校に配布した掲載問題所蔵CDの内容を一覧表にして令和元年8月配布。今後、計画的、継続的に活用していただきたい。

小学校5年用

「学力の課題に迫る！」評価問題一覧表（単元・領域対応表）

県教育委員会では子供たちの学力を向上させるため、良問により多く触れてほしいとの願いから、思考力・表現力を高める問題をかごしま学力向上支援Webシステムに掲載しています。これらの問題は、県内各地区の先生方の協力を得ながら作成したものです。昨年は、先生方の利便性を考慮し、Webシステムに掲載した問題を各校にCDで配布しました。

以下はCDの問題内容一覧ですので、各校の課題解決のため積極的な活用をお願いします。

| 小5国語 |                |           | 小5算数 |             |           |
|------|----------------|-----------|------|-------------|-----------|
| 問題番号 | 対応領域           | チェック(実施日) | 問題番号 | 対応単元        | チェック(実施日) |
| Q1   | 話すこと・聞くこと(1)   |           | Q1   | 小数と整数①      |           |
| Q2   | 話すこと・聞くこと(2)   |           | Q2   | 小数と整数②      |           |
| Q3   | 書くこと(1)        |           | Q3   | 分数のかけ算      |           |
| Q4   | 書くこと(2)        |           | Q4   | 小数のかけ算とわり算① |           |
| Q5   | 読むこと(1)(文学的文章) |           | Q5   | 小数のかけ算とわり算② |           |
| Q6   | 読むこと(2)(説明的文章) |           | Q6   | 分数のわり算      |           |
| Q7   | 読むこと(3)(説明的文章) |           | Q7   | 倍数と約数①      |           |
| Q8   | 読むこと(4)(詩)     |           | Q8   | 倍数と約数②      |           |
| Q9   | 読むこと(5)(新聞)    |           | Q9   | 面積①         |           |
|      |                |           | Q10  | 面積②         |           |
|      |                |           | Q11  | 体積          |           |
|      |                |           | Q12  | 単位量当たりの大きさ① |           |
|      |                |           | Q13  | 単位量当たりの大きさ② |           |
|      |                |           | Q14  | 正多角形と円      |           |
|      |                |           | Q15  | 図形の角        |           |
|      |                |           | Q16  | 比例          |           |
|      |                |           | Q17  | 割合とグラフ      |           |
|      |                |           | Q18  | 数量関係・数と計算   |           |
|      |                |           | Q19  | 単位量当たりの大きさ③ |           |

想定される活用の場  
 ① 授業のまとめや発展的な取扱いの場での活用  
 ② 長期休業中の課題や日頃の宿題としての活用  
 ③ 試験問題や単元末の評価問題としての活用 など

年間を通し計画的・継続的に活用していただくことを期待しています。

※ 小5、中1、中2の一覧表及び重点課題に指定した問題の中から、令和元年度「鹿児島学習定着度調査」(令和2年1月実施)に同一又は類似の問題を一部出題予定です。

※ 今後新たな問題もWebシステムに追加掲載し、充実させていく予定です。【自校のID、パスワード】  
 URL: <https://www.kshiban.jp/admin/login-so> ID: \_\_\_\_\_  
 PASS: \_\_\_\_\_

かごしま学力向上支援Web | 検索

(小学校5年担任用)

中学校英語用

「学力の課題に迫る！」評価問題一覧表（単元・領域対応表）

県教育委員会では子供たちの学力を向上させるため、良問により多く触れてほしいとの願いから、思考力・表現力を高める問題をかごしま学力向上支援Webシステムに掲載しています。これらの問題は、県内各地区の先生方の協力を得ながら作成したものです。昨年は、先生方の利便性を考慮し、Webシステムに掲載した問題を各校にCDで配布しました。

以下はCDの問題内容一覧ですので、各校の課題解決のため積極的な活用をお願いします。

| 中学1年用 |              |           | 中学2年用 |              |           | 中学3年用 |              |           |
|-------|--------------|-----------|-------|--------------|-----------|-------|--------------|-----------|
| 問題番号  | 対応領域         | チェック(実施日) | 問題番号  | 対応領域         | チェック(実施日) | 問題番号  | 対応領域         | チェック(実施日) |
| Q1    | 読む①(1学期前半程度) |           | Q1    | 読む①(1学期中間程度) |           | Q1    | 書く①(1学期前半程度) |           |
| Q2    | 読む①(2学期前半程度) |           | Q2    | 書く①(1学期中間程度) |           | Q2    | 読む①(1学期後半程度) |           |
| Q3    | 書く①(1学期後半程度) |           | Q3    | 読む②(1学期後半程度) |           | Q3    | 読む①(1学期後半)   |           |
| Q4    | 読む①(2学期前半程度) |           | Q4    | 書く②(1学期後半程度) |           | Q4    | 読む②(2学期前半程度) |           |
| Q5    | 読む②(2学期前半程度) |           | Q5    | 読む③(2学期前半程度) |           | Q5    | 読む②(2学期後半程度) |           |
| Q6    | 書く②(2学期前半程度) |           | Q6    | 書く③(2学期前半程度) |           | Q6    | 書く②(3学期前半程度) |           |
| Q7    | 読む③(2学期前半程度) |           | Q7    | 書く④(2学期前半程度) |           | Q7    | 読む③(3学期前半程度) |           |
| Q8    | 書く③(2学期前半程度) |           | Q8    | 読む④(2学期後半程度) |           | Q8    | 書く③(3学期前半程度) |           |
| Q9    | 読む④(2学期後半程度) |           | Q9    | 読む⑤(2学期後半程度) |           | Q9    | 読む④(3学期前半程度) |           |
| Q10   | 書く④(2学期後半程度) |           | Q10   | 読む⑥(2学期後半程度) |           | Q10   | 書く④(3学期前半程度) |           |
|       |              |           | Q11   | 書く⑤(2学期後半程度) |           | Q11   | 読む⑤(3学期前半程度) |           |
|       |              |           | Q12   | 書く⑥(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q13   | 読む⑦(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q14   | 読む⑧(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q15   | 読む⑨(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q16   | 読む⑩(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q17   | 読む⑪(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q18   | 読む⑫(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q19   | 書く⑦(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q20   | 書く⑧(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q21   | 書く⑨(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q22   | 書く⑩(2学期後半程度) |           |       |              |           |
|       |              |           | Q23   | 読む⑬(2学期)     |           |       |              |           |

想定される活用の場  
 ① 授業のまとめや発展的な取扱いの場での活用  
 ② 長期休業中の課題や日頃の宿題としての活用  
 ③ 試験問題や単元末の評価問題としての活用 など

年間を通し計画的・継続的に活用していただくことを期待しています。

※ 表中の網掛けは1学期重点課題として指定した問題です。  
 ※ 小5、中1、中2の一覧表の問題の中から、令和元年度「鹿児島学習定着度調査」(令和2年1月実施)に同一又は類似の問題を一部出題予定です。

※ 今後新たな問題もWebシステムに追加掲載し、充実させていく予定です。【自校のID、パスワード】  
 URL: <https://www.kshiban.jp/admin/login-so> ID: \_\_\_\_\_  
 PASS: \_\_\_\_\_

かごしま学力向上支援Web | 検索

(中学校英語用)

## ウ 総合教育センターWebサイト

総合教育センターのWebサイトには、日々の授業で使える指導資料や新学習指導要領のポイント及びQ&A等の最新の資料も掲載している。

(Webサイト:<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>)

さらに、センターでは、カリキュラムセンター機能の拡充にも取り組んでおり、来所者への研究・研修支援に関する指導助言を受けることができる。Webサイトに掲載している資料の他、多くの指導資料があり、来所した際には持ち帰ることができる。

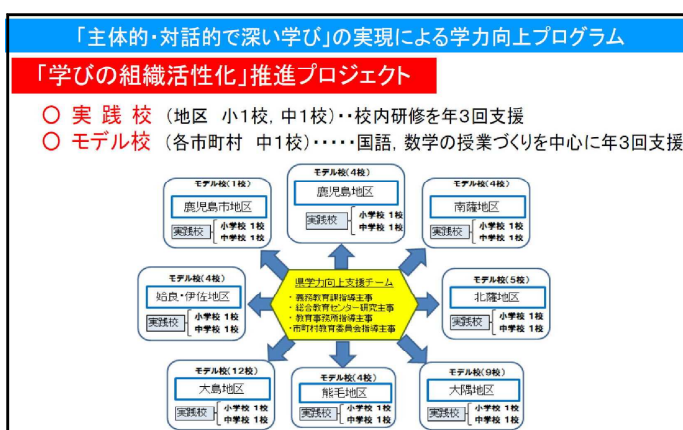
## エ 県教育委員会ホームページ

県教育委員会ホームページには、学びの羅針盤、鹿児島学習定着度調査の結果概要、各教育事務所からの情報(授業改善のポイントなど)、教育に関する様々な資料等が掲載されている。(Webサイト:<https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>)

## (2) 実践的な授業改善の取組

### ア 「学びの組織活性化」推進プロジェクト

学力向上のための実践校(小学校1校、中学校1校)を教育事務所単位で指定して、学力向上担当教員を中核とした学力向上推進体制を整備するとともに、市町村にモデル校(中学校1校)を指定して、学校全体の授業づくりの支援を行うことで、組織的かつ総合的な学力向上に向けた取組を展開して学校でのPDCAサイクルを確立し、県下への普及を図っている。



### イ コアティーチャーによるモデル授業

教育事務所ごとに小・中学校の教員によるコアティーチャープロジェクトチームを設置し、モデル授業づくり等に取り組んでいる。

※ その成果は、後述する「オープンサポートフォーラム」や「かごしま学力向上支援Webシステム」により還元している。

### ウ 授業公開・各教育事務所の学校訪問等

中学校に対しては、3年に1回の授業公開を要請している。また、各教育事務所においては定期的に学校訪問を実施して、授業改善等の指導助言を行っている。

## (3) 研修の充実

### ア オープンサポートフォーラム

教育事務所では、コアティーチャーネットワークプロジェクトのメンバーや授業サポートプロジェクトに関わる教員を含め、オープンサポートフォーラムなど多くの教員が参加できる地区の教科別研究会を開催している。

## イ 総合教育センターの研修及び土曜講座

総合教育センターにおいては、短期研修講座を、本年度移動講座69講座を含め、全144講座を実施している。また、土曜日における研修を希望する教職員のニーズに応えるために、希望研修である土曜講座も実施している。

※ Webサイトから研修の実施日や内容等を確認することができる。

## ウ 教職員の研修の手引

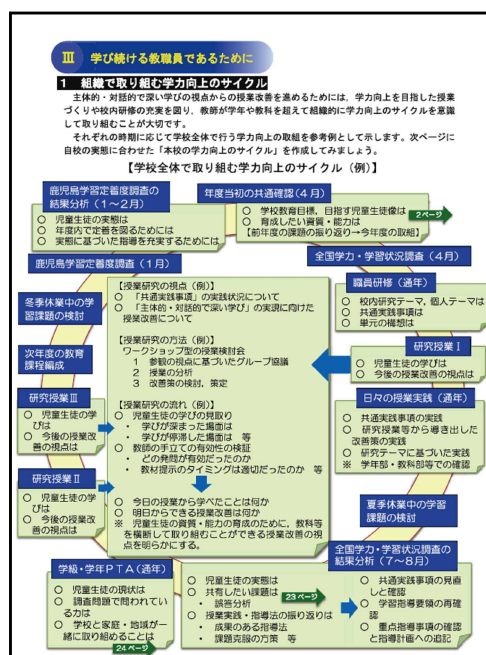
県教委は、日々の研究と修養に努めなければならない教師の実践的研修の手引書として、学校教育全般について編集したものを作成し、初任者に配布している。

### (4) 児童生徒の学習状況の見取り及び課題の把握

各学校では、右の図のような自校の学力向上に係るPDCAサイクルを確立してほしい。

その際、自校の学力の実態及び課題を把握し、その対応策、年間を通じた学力向上の取組の流れを全教職員で共有するとともに、定着が不十分な問題への補充指導を行い、確実な定着を見届ける授業改善の取組を実施していくことが大事である。

PDCAサイクルの確立に当たっては、「かごしま学力向上支援Webシステム」や「学びの羅針盤」、「学びの組織活性化」推進プロジェクト等の県教委の学力向上策を自校のPDCAサイクルに積極的に組み入れてほしい。



改訂版「学びの羅針盤」P21から

## ア 全国学力・学習状況調査

### (7) 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた分析資料の作成及び配布

各学校においては、以下の点を確認しつつ、PDCAサイクルに基づき、自校の取組の検証改善に役立てる必要がある。

- ・ 全教職員で、調査問題を解いているか。
- ・ 児童生徒の学力や学習状況調査を把握・分析しているか。
- ・ 令和元年8月に配布された報告書(文部科学省)等を活用しているか。
- ・ 県教委・市町村教委が作成する分析資料を活用しているか。
- ・ 学校全体として、具体的な改善策を検討しているか。

### (4) 全国学力・学習状況調査「学年・単元・領域ごと」整理表

過去の調査問題を、単元・領域ごとに一覧表に整理した。各教科で単元や領域ごとに、調査問題を配列したことで、単元末の確認テストや定期テスト等で容易に活用することができる。さらには、この一覧表を基に、各教科の指導計画に過去の調査問題を位置付けることでその効果はさらに大きくなる。

今までの調査問題を積極的に活用し、児童生徒の学力の定着を図ってほしい。

## イ 鹿児島学習定着度調査

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、課題解決に取り組むとともに、一貫した指導と学力向上のPDCAサイクルを充実させることにより児童生徒の学力の向上を図るため、実施している。

|      |  |
|------|--|
| 実施日  | 令和2年1月15日, 16日<br>(学習状況調査は1月15日~17日の間)                                     |
| 対象学年 | 小学校第5学年, 中学校第1, 2学年  |
| 対象教科 | 小学校(国語, 社会, 算数, 理科)<br>中学校(国語, 社会, 数学, 理科, 英語)<br>※ 学習状況調査(児童生徒質問紙, 学校質問紙) |

## ウ かがしま学力向上支援Webシステム(重点課題への取組)

全国学力・学習状況調査について、各学校でアの項で記載した点を参考にしつつ、自校の取組について検証改善に役立ててほしい。

### (5) 各調査問題(全国学力・学習状況調査, 鹿児島学習定着度調査, 公立高等学校入学者選抜学力検査)の活用

過去の学力調査問題や高校入試問題等が活用されるように、これらの問題を教科、単元等ごとに分類整理する。また、類題を作成し充実させ、単元末テストや定期考査等で活用されるよう各学校に促し、児童生徒に解かせることで、学力の定着を図ってほしい。

10月末、かがしま学力向上支援Webシステムに掲載する予定である。

□ 県教育委員会では、児童生徒の確かな学力の向上を図るため、「学びの組織活性化」推進プロジェクトやかがしま学力向上支援Webシステムの活用、コアティーチャーネットワークプロジェクト等を推進している。

先生方には、基礎・基本を定着させつつ、児童生徒が自ら考え、主体的・対話的な授業が展開されることを望んでいる。こうした取組が県内全域で行われることが大事であり、児童生徒を支えていく強い思いを共有したい。県の教育課題を解決するには学校と各市町村教育委員会、県教育委員会がこれまで以上に連携を強化していくことが不可欠である。

鹿児島県教育庁義務教育課フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/gimukyoku.kagoshima>

